

(五島地区)

早期・普通期水稲病害虫防除対策について

水稲については、日照不足が続いた為に軟弱気味となっています。生育は平年より3日ほど遅くなると予想しています。防除対策は次のとおりです。

早期

1. 発生概況

7月2日前後にハマキ・ウンカ飛来もあり、カメムシの生息数も多くなっている。

2. 防除時期

穂揃い期（8～9割出穂した時）を確認してカメムシの活動する夕方に防除

各地区の穂揃い期予想

久賀・大宝	7/12～14日頃
富江・三井楽・岐宿	7/15～17日頃
西部	7/18～20日頃
福江・本山・大津	7/16～18日頃

※もちは、5日程出穂が早いので早めに防除を行う。

3. 対象病害虫名

穂いもち病・カメムシ・ウンカ類

4. 使用農薬名

- 1回目 穂揃い期にブラシンジョーカー粉剤 4kg/10a当たり
- 2回目 7～10日後にキラップ粉剤 4kg/10a当たり
- 3回目 2回目の7～10日後にもんがれ病予防を兼ねてバリダトレボン粉剤を 4kg/10a当たり

普通期

1. 対象水田

早植え分（5月～6月上旬）のみを対象

2. 発生量概況

7月2日前後にハマキ・ウンカの飛来があり、箱施薬剤の残効も薄れてくることから防除を必要と思われる。

3. 防除時期

7月12日～13日

4. 対象害虫名

ハマキ・ウンカ類

5. 使用農薬名

パダンバッサ粉剤 4kg/10a当たり